

皇學館大學史學會講演会



演題

かんが

古代の地方豪族と官衙

日時 10月25日(木)16:30~18:00

場所 皇學館大学231教室(2号館3階)

<講師紹介>

佐藤 信 (さとう・まこと) 先生

1952年東京都生まれ。専門は日本古代史。

1976年東京大学文学部国史学専修課程卒業。

1978年東京大学大学院人文科学研究科(国史学)修士課程修了(文学修士)

奈良国立文化財研究所で平城京や木簡・寺院史料を調査・研究、文化庁で史跡の調査・保存・活用を御担当したのち、聖心女子大学を経て東京大学に戻り、現在は東京大学文学部歴史文化学科および大学院人文社会系研究科にて教授を務める。

実証的な史料批判の上に、遺跡や出土文字資料など幅広い歴史資料を活用した古代史をめざしており、とくに国家財政史、古代都市史、木簡や出土文字資料、そして史跡調査・文化財学に関心をもつ。

<主要著書・論文等>

『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館、1997年、ISBN978-4-642-02311-5)

『古代の遺跡と文字資料』(名著刊行会、1999年、ISBN978-4-8390-0307-4)

『古代日本の歴史』(NHK出版、2001年、ISBN978-4-595-67031-2)

『律令国家と天平文化』(吉川弘文館、2002年、ISBN978-4-642-00804-4)

『出土史料の古代史』(東京大学出版会、2002年、ISBN978-4-13-020135-3)

「日本古代の交通と出土木簡」(愛媛大学法文学部『資料学の方法を探る』8号、2009年)

「下野薬師寺の古代史」(栃木県立文書館『栃木県立文書館研究紀要』13号、2009年)

「陵墓と日本古代史」(青木書店『歴史学研究』857号、2009年)

「日本における漢字文化の受容と展開」(法政大学史学会『法政史学』72号、2009年)

「古代日本の漢字文化受容」(歴史教育者協議会『歴史地理教育』754号、2010年)

「出雲国造のクニと令制国出雲」(島根県古代文化センター『しまねの古代文化』17号、2010年)

その他多数。

